

出雲地区 里親だより

第13号
(令和3年3月)

◆開かれた里親会をめざして

出雲地区里親会 会長 三原 一郎

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大騒ぎ、各家庭におかれましても色々対応に苦慮されている事と思います。ワクチン接種が全国的に始まる事で、一日でも早く終息して、安心して外出等の出来る生活環境に戻って欲しいと思うこの頃です。

私儀、この度、里親活動に対し厚生労働大臣より『表彰状』を頂きました。此れもひとえに各里親及び関係の方々のご支援が有ればこそこの『受賞』と感謝すると同時に、身の引き締まる思いです。心よりお礼申し上げます。

私も里親登録してから30年以上となり、月日の経つのは早いものだなと感じています。皆様に支えて頂きながらのこの30数余年でした。又、前会長より会長職を引き継いで6年目となります。今後はこの受賞に恥じないよう、里親活動を続けてまいります。今後とも宜しくお願い致します。

今後は、里親会の運営の見直し等の課題も有ります。皆様と論議を重ね、より開かれた里親会で在りたいと思います。児童の社会的養護の現状を見聞しますとまだ十分な対応とは思えません。辛く寂しい思いをしている児童に少しでも早く救いの手が差し伸べてやれる様、皆様及び関係機関のご協力ご支援が必要です。更に平成28年6月の児童福祉法改正により「家庭的養育優先原則」が明確になり、令和2年3月に島根県においても『社会的養育推進計画』が策定されました。今後、施設から里親&ファミリーホーム等への委託率向上が掲げられました。里親への依存が高くなり、今後益々里親制度が重要視される事は間違い有りません。

更に今後、市町村単位で差は有りますが、「子育て短期支援事業」について、出雲市では令和3年度より里親への委託が始まる予定です。あらかじめ市に登録し、市より直接児童を短期で預かる制度(原則7日以内)です。

此れも又、里親としての重要性が高く問われる事となります。各里親の皆様も受け入れ態勢を整えてどう対応していくか、十分で安心して対応できる体制作りが里親会に求められている事と思います。

現在、里親として委託中の里親さん、そして未委託の里親さんが、一人でも多くの子供を、普通の家庭生活が出来るよう、受け入れる体制づくりが必要と思います。子供を幸せに養育してやりたい気持ちは里親全員が思っている事です。

現実として、里親の高齢化も避けて通れないのが現状です。新規里親さんの開拓等を含め更に皆様に協力頂き、皆様の里親会がより充実した会に成ります様、ご指導・ご支援・ご協力を、宜しくお願い申し上げます。

◆出雲地区里親会の新入会員さんの声

令和2年度、4組の里親さんが加入され、出雲地区里親会は41組となりました。

新入会員さんの自己紹介や思いを書いていただきました。

A 里親さん

私たち夫婦が養育里親に登録したきっかけは、テレビや新聞で痛ましい子どもの虐待などの報道を見聞きし、何かできることはないかという思いからです。

夫婦で令和元年から養育里親の研修を受講し、令和2年6月に養育里親名簿に登録していただきました。

基礎研修では、里親制度の基礎や保護を要する子どもの理解等について学ばせていただきましたが、一番参考になったことは、先輩里親の体験談でした。体験談を聞き、私たちにも子どものためにできることがあるという思いを強くしました。

昨年暮れに中学生の里親委託を受け、現在3人で楽しく生活を送っています。里親としてはまだまだ新米です。先輩里親の皆さんと交流しながら、家庭の中で愛情を込めて養育できる里親になりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

O 里親さん

はじめまして。私たち夫婦は平田地域に住んでいます。

不妊治療もしましたが子供に恵まれず、夫婦二人の人生を歩んでいこうかとも思っていたのですが、そんな気持ちとは裏腹に、子育てを経験したいという気持ちもあり、里親になることにしました。

私の母には幼少期からの持病があり、私が幼稚園くらいまでは母の入院中、祖父母の家に預けられていました。祖父母の家には叔父夫婦と従姉弟が住んでいましたが、従姉弟が親に甘える姿を見ながら淋しい思いをしていました。

実子のいない私たちならではの里親の形として、自身の幼少期の体験を思い起こしながら里子と向き合い、親子共々成長していけたらと思っています。そして、ご縁があれば特別養子縁組により、本当の親子として一つの家族になりたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

K 里親さん

私は、里親制度がある事をTVで知りました。そのTVは北海道の里親の体験談でしたが、とても興味を持ち、自分も今まで生きてきて、色々な人達の助けで生きているので、私も生きている限り、少しでも誰かの役に立つ事が出来たら幸せだと思い、ぜひ里親になろう！と思い申し込みました。

今は里親になって、日々、勉強です。人生のとても良い経験をしていると感謝しております。これからも宜しくお願い致します。

〇里親さん

始めまして、新しく入会しました〇です。よろしくお願いします。

私達は、このコロナで大変な時期に縁ありまして、新しい家族を迎えることができました。今7ヶ月になる男児です。とっても元気で、笑顔のすてきな子です。

私達には、実子が2人いますが、2人ともゆっくりペースの成長だったため、この子の成長に家族全員ビックリしていますが、とってものにぎやかな日々をすごしています。

一人は重度の障害を持っていますが、男児がきてから、少し成長にも変化がでてきています。それも周囲からおどろきの声をいただきます。

この子は、産まれてすぐ私達の手元にやってきてくれました。この子の存在はとても大きくて愛おしいものです。

これからも、家族全員でたのしんで、成長していこうと思います。

◆島根県社会的養育推進計画って何？ 里親との関係は？

「島根県社会的養育推進計画」は、島根県において、県・地域・関係団体との連携協働により推進していく社会的養育のあり方を示すものとして令和2年3月に策定されました。

計画期間は令和2年度から令和11年度までの10年間です。

家庭養育優先の原則に基づき、家庭と同様な環境における養育を推進するため、里親委託率の向上を図ることとしています。

里親等への委託の推進

里親及びファミリーホームに対する養育支援体制の整備

1. 「フォスタリング」体制の構築 R元年度～乳児院、安来学園に配置
2. 里親支援専門相談員の配置(乳児院、児童養護施設等)
3. 「1中学校区1里親」(子育て短期支援事業における里親活動、レスパイト等里親相互協力) ショートステイ
4. 各児童相談所に里親養育支援のための児童福祉司配置
5. 里親不調の背景・要因等の検証

■評価指標 「里親等委託率」

	H30末	R11
就学前	18%	40%
3歳未満	20%	50%
学童期以降	26%	40%

フォスタリング（里親養育包括支援）

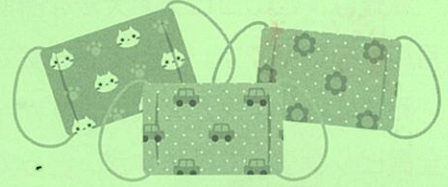
- ・リクルート及びアセスメント
- ・登録前後及び委託後の研修
- ・子どもとのマッチング
- ・委託中における養育支援
- ・委託措置解除後における支援
- に至るまでの一貫した支援

◆トピックス

子ども達にありがとうございました！

○今年はコロナで大変な年でした。

島根県社会福祉士会様がマスクバンクを実施され、色とりどりのかわいらしい手作りマスクが里親親子に届けられました。



○出雲中央ライオンズクラブ様からクリスマスプレゼントをいただきました。

4人ものサンタクロースが登場し、代表で受け取ってくれた里子さんもびっくり。



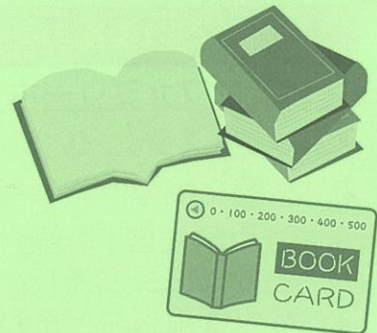
もう1人のサンタさんは写真撮ってます

左：藤原会長様

中央：三原出雲地区里親会長

右：出雲児童相談所長

○島根県電気工事工業組合青年部様より島根県里親会に御寄付をいただきました。「子どもたちのために役立ててほしい」と、長年にわたって御寄付をいただいています。いただいた寄付金で里子さんたちへ図書カードを贈呈しました。



中央：三原部長様

左：田中副部長様

右：中央児童相談所長

◆活動紹介（令和2年度）

地区懇談会

〔対象：出雲市平田地域〕

日 時 令和2年8月29日（土）

場 所 国富コミュニティーセンター

参加者 里親12名、里親支援専門相談員1名、出雲市2名、児童相談所職員3名

〔対象：出雲市平田以外の地域〕

日 時 令和2年10月17日（土）

場 所 高松コミュニティーセンター

参加者 里親13名、里親支援専門相談員2名、出雲市2名、島根県子ども子育て支援課1名、児童相談所職員4名

〔対象：雲南市・奥出雲町・飯南町〕

日 時 令和2年11月14日（土）

場 所 雲南市役所会議室

参加者 里親8名、里親支援専門相談員2名、雲南市2名、児童相談所職員4名

今年は、新型コロナウイルス感染拡大もあって、これまで里親・里子が一緒に作って、おいしいお料理とおしゃべりを楽しんでいた交流会は、開催できませんでした。

かわって、近くに住んでいる里親さん同士が知り合ってもらうことを目的に、地区ごとに集まって意見交換をしました。

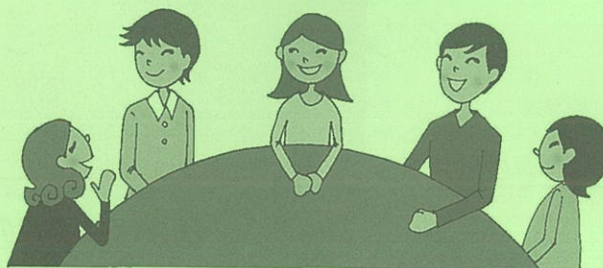
初めに、出雲児童相談所長から次の4つについて情報提供がありました。

「社会的養育（計画）」「子育て短期支援事業（ショートステイ）と里親」

「里親支援」「これからの里親会」

初っぱなの平田地区は、「密」を警戒し、広い会場に広い間隔で開催したところ、声も聞こえにくく、結果、話が出にくかったため、後の会ほど小グループで日頃の思いを話してもらいました。

里親同士でつながる必要性は、皆が感じているとわかりました。若い里親さんは子育てに悩み、先輩里親さんは手伝ったり、助けてあげることができればと思っておられます。双方がさしのべる手がうまくつながるように里親会が橋渡しできると良いです。



街頭活動

日時 令和2年10月31日(土)「11月児童虐待防止月間」

場所 ゆめタウン出雲

11月中、同店で里親パネル等を展示していただきました。

日時 令和2年11月10日(火)「11月児童虐待防止月間」

場所 みしまや三刀屋店

配布数 300枚

11月中は、雲南市役所1階ホールで里親パネルの展示をしていただきました。

啓発活動でも新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、街頭活動は縮小せざるをえませんでした。配れないなら自ら取ってもらおうと10月の里親月間に併せ、出雲市内と雲南市内の図書館に展示コーナーを作ってもらいました。また斐川地域の公民館でものぼりを立ててもらい、一部パネル展示をしていただきました。



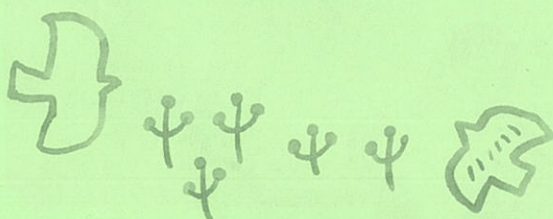
出雲市立出雲中央図書館



出雲市立ひかわ図書館



出雲市立海辺の多伎図書館





斐川荘原公民館



雲南市立木次図書館



雲南市立大東図書館



雲南市立加茂図書館

出雲地区里親会の里親文庫の本に加えて、各図書館所蔵の里親関連・児童関連の本も展示してもらいました。

辻村深月原作の「朝が来る」は、特別養子縁組に係わるお話です。河瀬直美監督により映画化されました。

里親啓発ポケットティッシュは、初めに置いたのが無くなって追加に行きました。ここで誰かが足を止めたり本を手にとってくださったんだなあと想像しました。

◆令和3年度の里親大会について（ご案内）

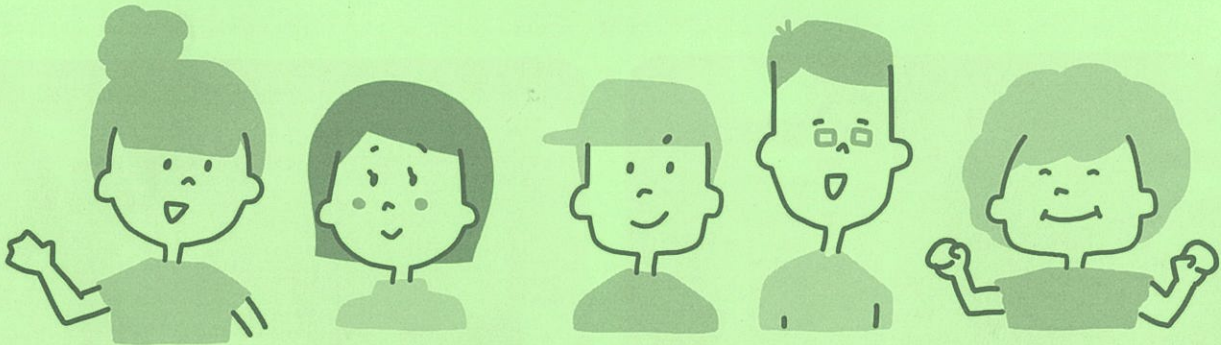
下記の予定で里親大会が開催されます。
島根県大会は出雲地区が担当です。
ぜひ多くの里親さん、里子さん、そして里親を知りたい方々がたくさん
集まる楽しい会にしましょう。



☆島根県里親大会

期 日：令和3年8月8日（日）12：30～16：30（予定）

会 場：出雲市役所 くにびき大ホール



編集後記

今年は新型コロナウイルス感染拡大により、マスク、手洗い、三密の回避、また学校の休校など、これまでと異なる対応を求められてきました。例年開催されていた里親交流会、里親サロン、児童心理治療施設みらいの餅つきなど、中止を余儀なくされたものもありました。一方で、新たな取組として、出雲地区では、小規模での地域懇談会を開催したり、全国的にオンライン（リモート）での会議、研修や交流も始まりました。様々な場面や分野で、これまでのことを見つめ直し、今後のことを考えていくよい機会にもなったのではないのでしょうか。変えていけないといけないうこと、変えてはいけないこと、見極めながら新しい時代に柔軟に対応していきたいものです。（事務局）

出雲地区里親会 〒693-0051 出雲市小山町70番地

電 話：0853-21-0007 F A X：0853-21-0047